

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
1	ツインアーチ138から100mバンジー	新しい取組みにチャレンジし、活気あるまち、魅力あるまちになってほしい
2	記念グッズ等の制作	100周年記念グッズ(記念升、記念Tシャツ、市内観光名所のトレカ、地元企業とのコラボ商品など)を制作することで一宮市の知名度を上げ、観光誘致に期待が持てる。経済効果があれば、まちにかつての賑わいが戻ってくるのではないかな。
3	駅名変更(期間限定)	尾張一宮駅と名鉄一宮駅に、期間限定で「100周年」の冠をつけてもらうことで一宮市の知名度を上げ、観光誘致に期待が持てる。経済効果があれば、まちにかつての賑わいが戻ってくるのではないかな。
4	全国一宮博	「一ノ宮」の切り口で旧国68か国の一宮が一堂に会する博覧会を開催することで、一宮市の知名度を上げるとともに、一宮市民に一宮市民であることを誇りに思ってもらいたい。また、全国の一ノ宮が集まるとなると、近年の御朱印ブームから、多くの人が集まる可能性がある。
5	タイムカプセル開封	平成7年11月3日に戦後50周年記念として光明寺球技場に埋設したタイムカプセルを開封して中身を公開し、「未来へ託す平和への思い」を後世に伝えてほしい。
6	敬老会出席者への写真プレゼント	県外に敬老会に出席すると記念に写真が撮ってもらえ、それを遺影に使う地域があり、その写真を見て感動したことがある。年をとると正装をすることも少なくなるので、もし写真のプレゼントができれば、とてもステキなプレゼントになると思う。
7	100歳の健康トークショー	一宮市在住の100歳の方に、長生きの秘訣や青春時代のお話を聞くトークショーを開催する。100歳の目から見た一宮市の良いところ良くないところも語ってもらう。
8	一宮モーニング食べ歩き10kmウォーキング	市内の喫茶店や洋菓子屋に協賛してもらい、1kmごとに一人一個食べれるイベントがあると良いと思う。モーニングと言えば一宮、を県内外にPRする。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
9	空から地元を見てみよう	ツインアーチ138発着の飛行船で市内を遊覧する。
10	演奏会	一宮市にゆかりのあるプロやアマチュアの演奏会を行う。一般の聴衆者が審査員となり、審査を行う。ピアノ部門、声楽部門、弦・管・打楽器部門。一般の聴衆者が最も多く感動した演奏者をたたえるコンクールを行い、一宮市から国内外で活躍する演奏者が育って欲しいと思う。
11	画像や動画で振り返る100年	せんいのまちであることや、子育て施設が充実していることなどを地元の人や最近越してきた人などを通して伝える画像や動画を制作することはおもしろいかなと思います。
12	Kisogawa Riverside Park Belt Cities	一宮市が中心となり、各務原市、犬山市、江南市を自転車道で結ぶ。一宮市だけでは観光的魅力が乏しいため、木曽川を軸にして地域で連携して売り出す。将来的には世界中から観光客が来る公園都市になってほしい。
13	一宮市内の岐阜街道ウォーキング	一宮市内の岐阜街道を歩くウォーキングイベントを実施し、地域のお宝を発見する。市民を巻き込んでコースマップを作成するとともに、参加者には記念品を贈呈する。
14	ハグの数でギネス記録に挑戦	本町通りにハグをしてくれる人を2人1組で呼び、一斉にハグをして世界記録を狙う。スキンシップの重要性を見直さなくてはならない時代に、心温かく、心豊かな一宮市が目指す意味でも、ハグの挑戦はできればと思う。
15	NHKのど自慢の誘致	幼いころから歌うことが好きなので、100周年の年にNHKのど自慢を一宮市でできればと思う。一宮市民が主役になれるので、テレビで見ている人や参加する人が自分のまちのことを誇らしく思えるようになるのではないかな。また、一宮市の良いところを全国にPRできるのではないかなと思う。
16	「全国138ふれあいまつり」の開催	七夕まつりの他ににぎわいが作れるようにイベントを仕掛けるべく、全国の「一宮」が付く自治体の名産を一宮市に集めて、交流を深める。毎月のように一宮市のどこかでユニークなイベントがあると良いかなと思う。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
17	「1dayお楽しみ会」の開催	市民会館で、「ゲーム大会」「NHKのど自慢大会」「有名歌手によるコンサート」を1日で行う。せっかくなので、新しいことにチャレンジしてほしい。
18	道の駅の設置	100周年を機にSDGsに市として対応し、地域を活性化する起爆剤として「道の駅」を開設する。地産地消を目指し、地元の生産者に解放し、地域の活性化につなげる。また、遊休農地を一般市民へ低料金で貸し出し、そこで栽培する野菜を道の駅で販売する。高齢者が野菜を作り、道の駅で販売し、生きがい作りの場とする。
19	「いちみんBox」の設置	それぞれの「センスオブワンダー」を集めて、一宮市への熱い思いから、軽く爽やかな感覚まで伝え合うための「いちみんBox」を設置する。年齢や育った場所に寄らず、一宮市の良さだけ言葉にする。気づかない視点が伝え合えて、押しつけがましくない機会になると良いと思う。100周年からスタートする価値観が生まれ、このまちのために何かできるかもしれないと思う人を後押しできたらと思う。
20	市史編纂委員会立上げ	市史の空白が半世紀近くになり、正史の続編を紙媒体だけでなく電子媒体にまとめる時期にあるため
21	「一宮市百年のあゆみ」リーフレット作成	市民にわかりやすく資料や写真、100年前からの地図等を示し、その変貌から一宮市の発展を発信する
22	紀寿百歳市民・2021年誕生児の記念祝賀	100歳を迎えた高齢者と2021年生まれの新生児を招待し、バトンタッチの記念の祝賀を行う
23	9・1誕生の市民100人招待祝賀	明治から令和2年までの9月1日生まれの市民を100人招き、誕生日を祝う
24	市政振興100周年記念宝くじ発行	地域発展のための宝くじを発行し、全国へ一宮市を発信するとともに、記念特別行事にいれる。ありきたりの式典や行事では終わらず、斬新な取組みを期待する。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
25	写真、ポスターの展示	他のまちよりも安心・安全なまちになってほしいため、現状の治水対策や地震対策、防犯に対する取組みや100年後のい向けでの目標などを、写真やポスターなどで展示するイベントがあれば良いと思う
26	障がい者交流イベント	みんなが笑顔で暮らせる一宮市であってほしいとの想いから、障がい者の当事者や支援者が一堂に会し、悩みを相談したり理解を促進できる、楽しいイベントがあるといいなと思う。病気や障がいに関するブース出展や病気の周知・啓発などを通して、市の福祉・医療分野の機能向上や、市民の健康づくりの推進を図る。また、障がい者や子どもなど関係なく、市民一人ひとりがまちづくりのヒントを得て、それを実行し、一宮市に来たいという人を増やすきっかけになればと思う。
27	「愛知観光サミットin一宮」の開催	一宮市の魅力を「観光・歴史・産業」等の分野で掘り下げ、いろいろな角度からPRする場として「愛知観光サミット」を開催する。
28	「なんでも鑑定団in一宮」の招致	一宮市とその周辺自治体に眠るお宝の発掘につながり、市のPRにつながるのではないかとこの想いと、周辺自治体の周年記念でも招致していることから提案した。
29	そのまんま東氏の公演	そのまんま東氏の県知事時代の出来事などの面白いお話を聞きたい。また、一宮市の知名度があがるのではないかと。
30	一宮市100年のあゆみ大パノラマ展	全長100mのパネルに100年の年表を貼り、その時々の写真を豊富に取り入れる。一宮市が100周年を機に「温故知新」で新たな発見をし、人づくりで豊かな住みやすいまちと経済の発展を図る。
31	138(いちのみや)グルメ展	一宮市産のグルメは知名度が低いと感じているため、No.1を決めて「〇〇(グルメ)のまち一宮」と呼ぶことで、観光客を呼びたい。
32	NHKのど自慢の招致	NHKのど自慢in一宮がテレビで放映されれば、一宮市が全国的に有名になるとともに、歌自慢の発掘につながると考える。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
33	松岡修造氏が一宮市を応援してくれるイベント	一宮市を盛り上げる応援して下さる方として、松岡修造氏が適任だと考えている。90周年のときも総合体育館のテニスパークに来ていただいているが、10年ぶりに松岡修造氏を呼んでほしい。
34	継続的にまちづくりを行うこと	一日の祭りやイベントで終わらせるのではなく、継続的なまちづくりを目指して計画を立てるとともに、若い人も入れながら次の100年に向けたことを考えることも大切ではないか。
35	100周年モーニング	一宮の文化であるモーニングで100周年をお祝いできればと考えている。各店舗で100にちなんだメニューを出してもらい、家族で、友人で、SNSで楽しんでもらえたらと思う。
36	一宮100マルシェ	一宮の特産物を集めて、100周年オリジナル製品を作って、県内外の人にPRするのはどうか。今”マルシェ”は人気があり、いろんな地域の人が集まって行われる場合が多い。一宮の生産者が協力して一宮を広めてみては？
37	一宮をかおりで振り返る展	一宮のかおりってどんなにかおり？一宮に住んでいると、思い入れのあるいろいろなかおりがすると思う。そのかおりを展示して嗅いでもらう。また、香水を作って販売する。
38	公共地を活用したイベントの実施	公共地を使って歩行者天国のようにして、人が集まるイベントを広く何度も開催されている状態になってほしい。道路占用が複数回見込まれることから、行政・ビジネス団体・市民が協働して「都市再整備推進法人」としてのまちづくり会社の設置が効率的だと思われる。急務では。
39	23連区をバトンでつなぐウォーキング	丹陽連区で小学校持ち回りで行われているウォーキング大会を、他の連区も含めて、あらゆる年齢の方が参加できるように実施する。
40	一宮市出身のバンドELDORADOの起用	100周年イベントに一宮市出身のバンドELDORADOを起用して、100周年を音楽を通して盛り上げてもらいたい。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
41	ドリフトライクを活用したイベント	大人も乗れる三輪車「ドリフトライク」を活用して、企業・団体のチーム戦及び個人戦のイベントを実施する。社会人になるとスポーツ等で競う機会が少なくなつこともあり、気軽に参加できるをキーワードに1番を目指す大会。
42	ゲームを活用したイベント	国体のeスポーツ競技で採用されたソフト等を活用して、ゲームを通してネットワークのみの世界ではなく、人と人との交流機会を創出を狙う。
43	パブリックアートをめぐるツアー	繊維産業による巨額の富を基礎に発展してきた一宮市には、優れたパブリックアートが多数ある。これらの作品を専門家の解説とともにめぐり、客観的評価と価値を見極める。同時に野外でパブリックアートが楽しめ、年齢に関係なく文化教育・情操教育が進む一宮市になってほしい。
44	真清田神社を観光資源に	真清田神社は地域の大切なシンボルであるが、今まで政教分離を理由に位置づけが不明瞭なまま過ぎてしまった。バス駐車場の機動的活用、駅から商店街・神社に至る参拝ルートの整備、一宮から神社などの価値を発信する発地型観光の有効化・実質化など、「観光」を切り口に真清田神社を地域のシンボルとして整備したい。
45	七夕まつりに「市民ゾーン」を	一宮七夕まつりは商業性の強いイベントであるが、100周年を機に安全安心な市民七夕まつりへ変わっていくべく、駅前から本町を「市民ゾーン」として「露天商ゾーン」と区別し、近隣店舗や市民自身による飾りつけが並ぶゾーンになれば良いと思う。
46	100周年関連事業をめぐるラリー	たくさんの100周年記念事業があってほしい。ずっと、毎月・毎週あっても良い。それらをつなぎ、回ってもらうスタンプラリーのような仕組みがあれば良いと思う。100周年記念事業を一過性のものにせず、長く人々の思い出となり、資源となるように。
47	100周年事業を支える「まちづくり会社」の設立	100周年記念事業では様々な事業を運営し、支援し、調整する莫大な量の作業が見込まれますが、豊かな資源があるかどうか不安になる。とりわけ多くの事業の支援・調整のためには、ヒト・モノ・カネ等を集約する「まちづくり会社」のようなものが組織されることが近道ではないか。複数回の道路占用等も見込まれるため、「都市再整備推進法人」でもあるまちづくり会社の設置が、合理的で手間も税金も有効活用できるので、あれば良いと思う。
48	「大相撲一宮場所」の開催	昭和27年ごろに当時の丹羽郡丹陽村(現丹陽町)で、当時の横綱を招いた大相撲丹陽場所が開催され、多くの人が感動に沸いたと聞いている。令和の時代になって相撲人気は益々高まっているので、ぜひ大相撲一宮場所を催行してもらいたい。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
49	「一宮スポーツ村」の設置	ラグビーW杯や東京オリ・パラで沸く中、スポーツは健康や体力の保持・増進、リハビリの手段としても欠かせないものとなっている。誰もがスポーツを楽しめる環境・施設がほしい。市内各地で陸上、体操、水泳、球技、格闘技などができる施設があり、地域の同好会からオリンピック代表までが練習できる環境があると良いと思う。
50	”野菜レシピ”の募集	野菜の地産地消促進のため、「レシピ大会」を開催して一宮のおいしい料理で健康・元気をPRしたい。様々な自治体の事例を参考にしつつ企業と協力して、市民に健康をPRしてほしい。
51	ウォークラリー形式で一宮市を知るイベント	市の施設を訪問して、ウンチクやトリビアが書かれたリーフレットを集めるイベントがあると、家族で参加できたり、一宮市のことを知ってより好きになってもらえるようになると思う。「一宮市には何もない！」という人が「意外と面白いものがあるんだよ！」と変わると、まちが生き生きするようになると思う。
52	NHK「のど自慢」の番組誘致(ゲスト舟木一夫さん)	NHKのど自慢を誘致して、ゲストに一宮市出身の舟木一夫さんを招く。毎回コンサートのたびに懐かしそうに幼いころの思い出を語り、郷土愛を感じさせてくれる舟木さんの歌で会場は一体となる。
53	舟木一夫さんのコンサート開催	舟木一夫さんのコンサートを一宮市民会館で開催する。100周年記念事業の催しに一宮市から声を掛けていただくと、舟木さんはお喜びになると思われる。全国から人が来て、市が潤うと思う。
54	アパレル系の大々的なイベント	最近市外の人は一宮市が繊維のまちだということを知らないのではないか。洋服を選んで着る楽しみは老若男女問わずである。もっと大々的に、アパレル業界の学生や社会人、おしゃれを楽しむ方々向けの催しを行うと、とても楽しいと思う。
55	一宮・温故知新ウォーキング	一宮市民が郷土の歴史や文化、産業の良さを再認識し、今後も一層の愛着と誇りを持って生活できるよう、恒久的な事業としたい。 ①各連区内の神社・仏閣・遺跡や、郷土の発展に尽力した先人の功績などを調査し、スタンプラリーを実施する。②特定の日を決め、それぞれの連区からオリジナルの旗を持って真清田神社に集まる。③各連区が作成したコース案内を合わせて印刷して配布する。
56	ウォーキングの奨励	歩いた歩数をお金に換算し、その金額を小中学校に寄附する。引きこもりになりやすい高齢者向けにスマホで気軽に利用できると良い。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
57	23連区に10万円を支給	23連区に用途を制限しない補助金を交付する。2021年度の1年間限定とし、事業は市広報等で報告する。
58	一宮市の歴史年表常設展の開催	織機を設置するなど、市外県外の人が楽しめる内容の常設展を開催する。歴代の市長や世界・日本・一宮の100年の年表をまとめて展示するなど、100年の歴史が感じられると良い。
59	100周年記念碑の建設	市役所の駐車場前や光明寺公園に100周年記念碑を建設する。屋根を付けて市民の憩いの場にする。
60	100年の歴史を冊子にする	一宮市の100年の歴史を冊子にして、市内全戸に配布する。
61	光明寺公園の利用拡大	光明寺公園に歴史資料館や美術館を設立したり、高速道路からの乗り入れを図ったり、近隣の駅からの交通手段を整備するなど、光明寺公園の利用を促進する。
62	市民ムービー作品の制作、上映	一宮市で堤幸彦監督の映像を制作し、多くの市民に関わってもらうことで、一宮市のことをもっと知って好きになってもらいたい。もうすでに堤監督にはご賛同いただいているので、来年度クランクイン、さらい年度に市民会館で上映と記念DVDの制作ができると良いと思っている。まずは多方面で協力していただける制作準備委員会を発足させたいと思っている。
63	アマチュア無線のイベント	100周年を機に一宮市の知名度を上げるため、地元のアマチュア無線家が協力して、国内や海外のアマチュア無線家と交信することによって、一宮市の場所や歴史を知ってもらうきっかけを提供したい。平成29年には浅野公園100周年記念局を開設した実績もあるため、一宮市の知名度向上に貢献できると考えている。
64	一宮 だいすき セタまつり	閑散とした本町を見ると心寂しい気持ちになる。「一宮」の名前の由来となった一宮市中心地がもっと元気になってほしいので、セタまつりに一宮市出身の芸能人やスポーツ選手を呼んで、一宮市民の励みにしたい。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
65	一宮 だいすき 大江川桜まつり	青木川の桜まつりは雨でもステージのまわりは人がいっぱいだったので、大江川の桜まつりもステージを設けて、各連区公民館事業の発表や幼保・小中学校のブラスバンド等の演奏を催せば、もっと賑やかになるのではないかと。同時に本町商店街でもイベントが計画されれば、一宮の中心街が元気になるのでは。
66	「一宮スポーツ村」「一宮eスポーツ村」の設置	スポーツは性別・年齢・障害の有無にかかわらず、すべての人にとって体力の維持や増進などに欠かせないものとなっている。また、近い将来「eスポーツ」も新種目に入るという情報もある。一宮市に100年先を見据え、まちおこしの拠点ともなり得る、スポーツができてリハビリ施設も備えた「一宮スポーツ村」「一宮eスポーツ村」ができたら良いなと思っている。
67	災害支援基金一千万円事業	市民が災害被災地に出かける際の交通費の一部として災害支援基金を積み立てられたら良いと思う。この地域は今のところ災害が少ないため、もしものために被災地に行ってボランティアの経験を積むことで、被災地になってしまったときの備えになる。
68	5Gを活用したリアル体験イベント	2020年から5Gの普及が始まり、様々なリアル体験ができるようになる。一宮の各地でイベントを行い、一宮市ならではの景品をつけるなどすると、地域が活性化するのではないかと。思う。
69	みんなで1つの作品を作るイベント	一宮市はモーニングが有名なので、モーニングをどんどん発展させてほしい。一宮市のモーニングに対する努力はすごいと思うので、今後も市外から来る人が増えて欲しい。
70	「第九」演奏会	2006年に「新生・一宮市を祝う 第九演奏会」を行った。「第九」は世代を越えて未来をつなぐ音楽であるため、演奏会を開いて芸術文化薫る一宮市になってほしい。第1部を子どもたちの歌の演奏会、第2部を「第九」演奏会にするなど、2部構成にしても良い。
71	尾州(BISHU)を使ったファッションショー	世界に誇る尾州(BISHU)の生地を広く知っていただくために、その魅力を引き出す華やかなウォーキングとパフォーマンスで見る人を引き付け、尾州の生地を身近に感じていただきたいと思う。一宮発のJapan-Beautyをぜひ。
72	100歳になった一宮市がもっと元気に世界デビュー	世界のどこかに住んでいる「一宮市出身の方」に一宮市についてSNS等で語ってもらおう。「良いところ、思い出すところ」「こんなこと、場所、モノがあれば」「一宮市でやりたいこと」などを語ってもらい、外部の風を取り入れられたらと思う。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
73	一宮市を立体模型やブロックで表現	100周年を迎えた今の姿と、これからの一宮市の姿を立体模型で表現し、i-ビルや市役所に展示してほしい。あわせて子どもたちがまちへの想いをブロックで表現できるようなスペースがあると良い。
74	まちへの想いを俳句や短歌で募集	自分たちが暮らすまちへの想いを、広く市民に作文や短歌、俳句などで募集して、優秀作品の選考と作品集の制作ができれば良い。
75	地域づくり協議会ごとに1点記念事業を企画	市内の地域づくり協議会に、100周年記念事業として、連区の企画案を1点計画してもらおう。
76	謎解きで一宮の魅力を発見	一宮市内を歩きながら、謎解きをして魅力を再発見する。親子で楽しめるものからマニアックなものまで、レベルがいくつかあっても楽しそう。また、歴史的な起源などを問題にして楽しめると良いと思う。
77	空き家を活用して100人の創業者を一宮市に呼ぼう	次の100年を見据えて、仕事を増やしてもっと活気のあるまちになってほしいので、市内にある空き家を活用してあちこちにインキュベータオフィスがあって創業しやすい環境を作る。安価で主婦の人たちも参画できるような環境があれば良いと思う。100周年にちなんで100人の創業者を育てることができれば、一宮市にも明るい次の100年があるのではないかな。
78	毛織物のまちからひつじのまちへ、そして再び毛織物のまちへ	次の100も毛織物のまちとして活気を取り戻すべく、原料となるひつじが日常にあふれる暮らし、地元で生産された毛織物が日常品として使われる暮らしを作りたい。ひつじの飼育からウールの調達、そして食糧となるところまで地場産業を見直すことができればと思う。
79	おいしい水「おりひめ」の販促事業	「おりひめ」は、一宮市のおいしい水というだけでなく5年長期保存もできる。このラベルに七夕まつりやモーニングの店の地図をプリントして、ペットボトルを持参すると特典がもらえるなどの販促事業を行い、100周年の一宮市と豊かな水、住みやすいまちをPRする。
80	「人と川を結ぶ一木曾川体感街道」宣言	木曾川河川区域は、重要公共交通の結末点で北の玄関口であるとともに、①絶好のロケーション②豊かな清流と緑③川の歴史を証言する史跡④すばらしい眺望⑤川とともに育まれた文化風土などの特徴がある。そこで「人と川を結ぶ一木曾川体感街道」宣言を行い、もっと川へ、もっと緑へ、もっと歴史へのアピールをしてほしい。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
81	宇宙、ロボット産業	マンガやアニメのような宇宙・ロボット産業があるといいなと思う。アニメ、織物、マンガ、繊維が混じったまちになってほしい。そして、文化や産業、人や動物、植物の共生するまちになってほしい。
82	木曾川堤の桜の保全及び植樹	全国でも珍しい名勝と天然記念物の桜を保全・育成することにより、集客と憩いの場を提供することができる。
83	市民参加によるラジオ体操の同日実施	元気で明るく健康に暮らすため、各地域でラジオ体操を定期的 に実施し、8月の日曜日にメイン会場や小中学校で一斉実施す る。その後も地域でラジオ体操を継続し、地域の人たちが気楽 に集える場所をつくる。
84	繊維、半導体、ゲームのまつり	繊維やゲームメーカーで新しい素材をつくり、コスプレや位置情 報ゲームなどで現実世界の消費につなげるため
85	墨会館や本庁舎でファッションショー	毛織物は一宮市にとってとても大切な産業なのだが、市民は十 分に理解していないのでは。すべての市民に一宮市で作られて いる織物のよさを知ってもらうためにファッションショーを実施す る、繊維産業が盛んだったことを伝えてくれる墨会館や、市役 所の吹き抜け部分を生かしたファッションショーを実施して、建 物の良さも同時に知ってもらいたい。
86	PK選手権inいちのみや	サッカーのPKをカテゴリー別に実施して、参加料で元プロ選手を 呼べると良いと思う。スポーツで元気なまちになってほしいと 思っているので、まずはボールを気軽に蹴ってみるところから始 めて、スポーツって楽しい、体を動かすことって楽しいと思っ てもらえるといいなと思う。
87	v-tuberで一宮市を世界にPR	一宮市を全国・世界の若者にPRするため、「v-tuber」を新たに 誕生させ、youtubeへ積極的に動画投稿していったり、イベント に出演したり、一宮市の広報リーダーとして位置づけたりする。 若いファンが全国にでき、まちにも活気が出るのではないかと 思う。v-tuber誕生には若者の意見が必須なので、市内の大学生 や高校生にも関わってもらおう。
88	100個のイベントの実施	1年間に100個のイベントを開催することを提案する。一宮市が 今よりもっと活気のある街になってほしいという想いと、市民全員 で100周年を祝うことができれば良いという想いがある。すべて のイベントを大きなスケールでできるとは思えないので、オー プニングとファイナルは大規模にして、市民に100周年を周知さ せていくこともひとつだと思う。

アイデア No.	タイトル	詳細・理由
89	23連区ウォーキングイベント	23連区の各所にチェックポイントを設けて、スタンプラリーを行う。期間内に全て集めたら景品と交換できる。一宮市に住んでいても、自分の住んでいる地域しか知らないことが多い。100周年を機に自分の知らない一宮市を知ったり、交流を持ったりすることは、市民が一宮市に魅力を感じることにつながるのではと思う。
90	一宮市の産業の展示と元気な企業を知ろう講演会の実施	全国の活力ある企業の工夫を知り、一宮市が元気になる方法を考える。(若者の意欲向上、社員のアイデアの活用、高齢者・障害者の雇用など。)企業や店舗などが元気な一宮市になれば、全国に誇れるのではないのでしょうか。